

つ 津 み ら い

いわわき けいいち
岩 脇 圭 一

録画映像



問 津駅周辺空間の基本的な方向性について問う

令和2年7月から津駅周辺道路空間検討会が設立され議論が進められており、令和4年10月に津駅前において歩道空間拡張に向けた社会実験が行われたところだが、どのような将来像を描いているのか。

また、令和3年度には「津駅周辺道路空間の整備方針」がまとめられたが、それに基づいた今後の取り組みはどのように行われるのか。

答 国・県・津市が連携を図りながら取り組む

津駅周辺道路空間の将来像については、津駅東口の歩行者デッキや東西自由通路の整備、駅前通りの歩行空間の拡張およびICTを活用した案内看板の設置などを行い、「みえ京都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間」へと再生することを描いている。

津駅周辺道路空間の整備方針に基づいた今後の取り組みについては、国・県・津市がそれぞれの役割分担の下、連携を図りながら、津駅周辺道路空間の整備方針の具体化に向けて取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 津市公契約条例の一部の改正について
- 津市公契約審議会における審議経過について
- 自転車のまちづくり・安全利用の取り組みは
- 大門・丸之内地区未来ビジョンのたたき台が示されたが将来像の実現に向けた施策・役割分担・ロードマップをどのように描いているか
- エリアプラットフォームの進め方は **など**

▶津駅前にて行われた道路空間を利活用した社会実験の様子



じゆうみんしゅとうしぎだん
自由民主党市議団

はった まさとし
八 太 正 年

録画映像



問 メンタルヘルス不調による長期休暇・休職中の職員数は

メンタルヘルス不調による長期休暇・休職中の職員は何人いるのか。

総合支所では、少ない職員数で助け合いながら、地域住民の方々のために職務に就いているが、長期休暇・休職者がいると、あとの残りの職員の業務に支障を来すと考えるがどうか。

答 30日以上病気休暇取得者は8人、休職者は30人である

令和4年12月1日現在、30日以上病気休暇を取得している職員は12人、休職者は34人の計46人となっている。このうち、メンタルヘルスの不調によるものについては、病気休暇を取得している職員は8人、休職者は30人の計38人となっている。

ご指摘のように、職員数が限られている中で、総合支所のように少ない職員数で対応している場合、長期休暇・休職者がいると、その分の仕事は、同じ総合支所内で助け合いながら分担して行っている。

その他の質疑・質問

- 公共工事の火薬使用による民家破損に対しては被害家屋の原状復帰による補償を
- 他人の土地へ市営浄化槽を設置し国庫補助金の交付を受けたことは補助金適正化法違反では
- 県より譲り受けたズリの現況について
- 下水道事業で初めての技術提案型総合評価落札方式による入札および契約について **など**

▶リニューアルオープンした神原温泉湯の瀬の温浴施設について洗い場の排水の早期改修を

